

# 紀の体

和歌山市管工事業協同組合



URL <http://www.w-kankoji.com>  
 E-mail: [wakayama@w-kankoji.com](mailto:wakayama@w-kankoji.com)

## 和歌浦片男波の初日の出

奈良・平安の昔から多くの歌人に愛された景勝の地で、万葉人が幾多の歌を詠んでいます。名前の由来が万葉集の「若の浦に 潮満ち来れば 湯を無み 葦辺をさして 鶴鳴き渡る」(山部赤人の「湯を無み」)にちなんでいると言われています。

万葉集の中には和歌山を詠った歌が107首もあり、和歌浦周辺で詠まれた歌は約10首あるそうです。

また、和歌浦片男波は和歌山県朝日夕陽観光百選にも選定されています。

## 目次

新年のごあいさつ	理事長	山本昌彦	… 1
新年のごあいさつ	顧問	小川 武	… 2
新年のごあいさつ	顧問	和田秀教	… 3
新年のごあいさつ	青年部会長	白井万佐也	… 4
新年の抱負	各役員		… 5
役員会報告			… 7
商法改正について(その4)			… 9
おじゃマンの会社訪問			… 11
組合の動き			… 12
青年部の動き			… 13
編集後記			… 15



## 新年のごあいさつ

和歌山市管工事業協同組合

理事長 山本昌彦

新年あけましておめでとうございます。

組合員の皆様方には健やかに新年をお迎えの事と心からお慶び申し上げます。昨年中は業界をとりまく厳しい環境の中で、組合の運営に多大のご支援ご協力を賜わり有難うございました。

現在、組合の事業となっております市水道局との受託事業の「災害発生時に於ける水道施設の応急復旧の応援に関する協定書」は平成12年6月1日より和歌山市と締結を致しております。これはすでに皆様ご承知のように、今世紀前半にも発生の恐れがある東南海・南海地区の地震に対処するために結ばれた協定書です。この協定書を結ぶ事によって、和歌山市の市民生活を担うライフラインとしての重大な使命と責任を感じております。日頃の技術の研鑽を重ね、日夜漏水修繕工事に取り組んでおります。市当局の要請のあった場合は、出動する態勢を整え、何時でもその状態を維持出来ると云うことは、日頃の漏水修繕工事の成果が応急復旧に対して人員機材等の現状の把握が出来ておりますので、出来得ることと確信を致しております。

組合員の皆様には、市民生活に欠かす事の出来ないライフラインを維持して行く自信と誇りをもって、頑張っていこうではありませんか。

最後になりましたが本年も組合員皆様方の事業の繁栄とご健康ご多幸を祈念申し上げます。年頭のご挨拶といたします。





## 新年のご挨拶

和歌山県議会議員

顧問 小川 武

新年あけましておめでとうございます。

和歌山市管工事業協同組合の皆様には、お健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

平素は、山本理事長を先頭に組合員の方々には組合や事業活動を通じ、県政の推進に多大の尽力をいただき、また県議会の活動に対してもご理解とご支援を賜わり厚く御礼申し上げます。

「東南海・南海地震」が30年以内に発生する確率は約40～50%とされています。県においては、地震防災対策アクションプログラムを平成16年に策定し、対策を講じてきたところですが、私は60年前の南海地震を体験した一人として、日頃の備えを市民に呼びかけているところであります。また大雨や台風も心配されるところでありますが、皆様方には、災害協力協定に基づく総合防災訓練の参加や、ご家族にも参加いただいた紀ノ川一斉清掃をはじめとした各種ボランティアへの積極的な活動など、改めて敬意と感謝を申し上げます。

さて、昨年は小泉首相から安部首相へのバトンタッチがありました。また県政においては、知事が不祥事により退陣し、仁坂知事が誕生しました。景気はいざなぎ景気を越えたといいますが、地方においてはその実感はなく、人口減少下、厳しい状況は続いていくと見込まれます。こうした中、新しい仁坂県政では、談合防止等法令遵守や行財政改革、それから産業振興や安全・安心対策に取り組まれると聞いております。県議会においてもその役割と責任を自覚し、県政の監視を強化するとともに県勢活性化施策の提案を行っていきたいと考えております。

水道は、健康で文化的な生活を送るため、また産業活動や防災その他、都市機能を維持する上で必要不可欠なものであり、ひとたび災害が発生すれば、組合員の皆様のお世話になり、一番最初に復旧をお願いしなければならないライフラインであると考えております。

業界を取り巻く環境は依然として厳しいものがあり、組合員の皆様には何かとご苦労が多いかと存じますが、培った技術と経験を活かし、快適な和歌山市の実現をめざし、ご活躍いただけることを期待して、私の年頭のご挨拶とさせていただきます。



## 新年のごあいさつ

和歌山市議会議員

顧問 和田 秀 教

新年明けましておめでとうございます。

和歌山市管工事業協同組合の皆様には、お健やかに素晴らしい新年をお迎えのことと存じお慶び申し上げます。

平素は、和歌山市議会の活動に、ご理解とご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年、7月30日に和歌山市長選挙が実施され、また、年末の12月17日には和歌山県知事選挙が行われました。政治に携わる者の原点の一つとして、市民の皆様から、県民の皆様から「お預かりしている」大切なお金（税金）を最大限に活かさせて頂くことが最も大切な使命だと考えております。その為にも、「経済成長なくして財政再建なし。」と考えております。

「速効性のある経済効果を求めて、景気対策!! 定住化政策!! 行財政改革!!」と、この四年間実行した公約の一部をご紹介させていただきたいと思っております。

- 1 新築住宅奨励金制度の創設
- 2 全国大会誘致議員連盟を結成し、会長として数々の大会誘致
- 3 老朽化した市営住宅の統廃合及び跡地の売却
- 4 市営住宅の管理を民間委託
- 5 和大新駅建設促進及び周辺整備と開発
- 6 和歌山城内に歴史資料館を創設

さて、東南海、南海地震や重大災害に対する備えは十分過ぎても足りないことはありません。特に“水一滴”の重さはプロ集団であります皆様方が一番ご理解されていることと存じております。水環境を守ることは貴組合の皆様方とともに力をあわせて歩んでいきたいと思っております。

最後になりましたが、組合員の皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げ年頭のごあいさつといたします。

合 掌



## 新年のごあいさつ

青年部 会長

白井 万佐也

新年明けましておめでとうございます。私たち青年部も10年目を過ぎ、ボランティア・親睦・組合活動と実りのある事業を定着して行えるようになりました。

本年は県下の他市町村の若い青年の方々とも交流を深める良い時期だと考えております。

また全国管工事業協同組合青年部協議会活動を通じて、近県の青年部とも親睦の会を行っていききたいと思っております。

ここ数年、私たちの業界も「変革の時」とよく聞かれますが、この波は加速傾向にあると感じられます。水道業界の次世代を担う若い力を青年部の集まりを通して、集結し、より磨きをかけていきたいと思っておりますので、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。



## 新年の抱負

あけましておめでとうございます。

今年の干支は亥です。新しい年の始めに役員各位の抱負を語って頂きました。



**理事長 山本昌彦**〔株大昌商会〕

業界を取巻く環境の変化と要請に対応できる組合を目指し、亥年で元気に突き進みたい。



**副理事長 小向俊和**〔株小向商会〕

配管技術の継承と次世代を担う後継者の育成に努力したい。



**副理事長 坂東利仁**〔バンドー設備工業株〕

万全な健康管理をし、組合の運営と管工事業界の発展に力を注ぎたい。



**理事 小田敏夫**〔小田商会〕

年を重ねた人生を有意義に全ての事を誠実に務め心新たに励みます。



**理事 青木保誠**〔株青木工業所〕

自己マネジメントを徹底し、業界発展のために尽力をつくしたい。



**理事 石橋洋二**〔有石橋工務店〕

組合員の皆様と共に一層の発展を願い、躍進して参りたいと思います。



理事 小佐田 晴可 (小佐田興業)

元気で前進！イノシシ年 突き進み頑張ります。



理事 中谷 晃也 (東和冷機株)

環境の変化に柔軟に対応し、業界の地位向上を目指します。



理事 西岡 廣秋 (南西岡水道店)

“人間とし、又仕事面でも信頼してもらえる”人になりたいです。



理事 平岡 卓治 (平岡ポンプ水道店)

私達組合含め、水道業界全体が向上できるよう若い世代の一人として、組合事業に猪突猛進の年



理事 松下 重夫 (株松下工務店)

健康に気をつけ、皆様に喜ばれる施工に取り組むと共に、業界の発展に尽力したい。



理事 湯川 幸司 (湯川水道工業所)

組合の運営及び漏対事業等が、スムーズに行えるよう頑張ります。



監事 川野 辰雄 (川野水道店)

水とあれこれ50年、猪突猛進で色々あったけど、今年も又頑張るよ。



監事 山下 繁夫 (山下水道店)

健康を第一として、元気に何事にも精一杯取り組みたい。

# 役員会報告

## 10月度 定例役員会

- 1. 開催日時 平成18年10月11日(水) 午後5時30分より
- 1. 開催場所 役員会議室
- 1. 役員定数 理事12名、監事2名
- 1. 出席役員 理事9名、監事2名

議事の大意は次のとおり

### 第1号議案 軽トラックの購入(買い換え)について

議長の命により事務局長から、事業部で使用している軽乗用車を、事業部の事業に必要なため軽トラックに買い換えたい旨、別紙見積書により提案。全員異議なく原案どおり可決。

### 第2号議案 「第3回和歌山くみあい祭り」への出展について

議長の命により事務局長から、中小企業団体中央会主催による「第3回和歌山くみあい祭り」が、11月18日(土)～11月19日(日)和歌山マリーナシティ内の多目的ホール「ウェーブ」で開催されますが、それへの出展を中央会より依頼があり、当組合青年部の同意が得られれば、出展してはどうかと提案。全員異議なく可決。

### 報告議題

事務局長より以下の項目について報告があり、全員異議なく了承した。

#### 1. 組合員の異動について

自由脱退 株徳川総業 代表取締役 中筋好樹  
株日冷社 代表取締役 奥野二美

#### 2. 電子入札操作実習講習会開催について (県連合会主催)

#### 3. 建設業経理検定試験について

#### 4. 給水装置工事配管技能者講習会について (県連合会主催)

#### 5. 配管技能士検定試験(建築配管)について

#### 6. 石綿作業主任者講習会について



**11月度 定例役員会**

- 1. 開催日時 平成18年11月14日(火) 午後5時30分より
- 1. 開催場所 役員会議室
- 1. 役員定数 理事12名、監事2名
- 1. 出席役員 理事9名、監事2名

議事の概要は次のとおり

**第1号議案 年末年始の業務体制について**

議長の命により事務局長から年末年始の業務体制について

- ① 12/29(金)～1/4(木)まで休日とすること
- ② 事業部については12/31(日)～1/3(水)までを休日とすること

を提案。全員異議なく可決。

**第2号議案 平成19年度の組合休日カレンダーについて**

議長の命により事務局長から、平成19年度の組合休日カレンダーについて別紙により提案、原案通り全員賛成にて可決。

**第3号議案 年末年始の諸行事について**

議長の命により事務局長から、下記のとおり提案、

- ① あいさつ回り 12/27(水)、1/5(金)
- ② 役員会 1/16(火)

全員異議なく可決。

**第4号議案 平成18年度の決算予想について**

議長の命により事務局長から、材料の売上の低下、漏水工事の減少等により前期同様きびしい決算が予想される旨、報告。全員異議なく了承。

**報告議題**

事務局長より以下の項目について報告があり、全員異議なく了承した。

- 1. 給水装置工事配管技能者講習会について
- 2. 配管技能士検定試験(建築配管)応募状況について
- 3. 配管基幹技能者認定講習会について
- 4. 和歌山市水道局幹部との懇談会結果について



## 商法改正について (その4)

紀の州コンサルティング

中小企業診断士 社会保険労務士 濱田 智司

最終回の今回は、会社の吸収合併などが今後増えてくるということ、新たな資金調達手段として社債を活用するケースが増えてくること、そして今般新設されたLLC（合同会社）と昨年新設のLLP（有限責任事業組合）を活用する例が増えてくるということをご説明します。

### 💡「会社の吸収合併」が今後増える!?

私たちには、すぐ振りかかることはないかもしれませんが、今後、外国のように会社の吸収合併が増えてくるものと思います。「新会社法」では、新たに「合併等の対価の柔軟化」が図られることとなりました。今までは合併により消滅してしまう会社の株主に交付される財産は、原則として存続した側の会社の株式に限定されていたため、いろいろと不都合が生じていました。これが、所定の手続きを経ることで「交付される財産が、現金や存続会社の親会社の株式などでも構わない」というように柔軟に変更されました（但し、実施が認められるのは来年になる見込みです）。

普通、M&A（「合併と買収」という意味）というと、「会社を乗っ取られる」といったマイナスイメージがありますが、今後は時代の変化に効果的・効率的に対応するという前向きな考えでの合併が増えてくるものと思います。みなさまの取引先においてもこのよう

なケースが今後良く見うけられるのではないのでしょうか。

### 💡新たな資金調達手段とは!?

社債と言いますと、「大きな会社が行うもの」というイメージがありました。小さい会社でもこれを活用することは可能です。今般の改正では、今まで株式会社しか認められなかった社債の発行が、すべての会社類型において可能となりました。私たちが利用しやすい社債は、少人数私募債というものであり、少人数の縁故者や取引先を対象として発行することで、資金の調達が可能となっています。社債を発行するメリットとしては、返済方法が「満期をもって元金を一括返済する」点にあり、借入金とは異なり返済期日まで目一杯資金を有効に活用できます。また社債を取得する個人にとっても、源泉分離課税の適用を受けますので、所得が多い方にはお得な手法です。まだまだ、「私募債…何それ?」という段階ではありますが、これから徐々に増加してくるものと考えられています。

### 💡LLCとLLPで 新たな会社の活用ができる!

LLCやLLPなど横文字3文字は、誠に憶えにくいものですが、私たちの今後の新たな企業経営の中では、これらの制度を煩

雑に目にする事になりそうです。

LLCは、合同会社と呼ばれるもので、一般の会社法改正により新設された制度です。一般に合名会社や合資会社と呼ばれる会社は、ヒトを基本とした組織であり（人的会社と言います）、構成員（無限責任社員）には、無限責任（会社で生じた債務責任を際限なく負うようなこと）が義務付けられています。これに対し株式会社では、構成員（株主）の責任は、出資額に限られるという有限責任となっています。合同会社では、この両者の良いところを取り、ヒトを基本とした組織でありながら、出資額までの責任となる有限責任を採用しています。このヒトを基本とした組織の良いところとは、株式会社とは異なり「利益や権限の配分が出資金額の比率に拘束されず内部で自由に決めて良い」というように内部自治が認められているというところですね。よって取締役会や監査役を置く必要はありません。法人も構成員になれますので、企業同士の共同事業などには向いている法人形態です。

一方、昨年8月に施行されたLLP（有限責任事業組合）も私たちにとっては、今後とても活用しやすい組織形態となるでしょう。LLPとは、共同で営利を目的とする事業を営むための組合契約のことです。資本がなくても専門技術やノウハウを持った者たちが集まってLLPを立ち上げることが可能です。LLPでは、株式会社とは異なり、出資者は必ず何らかの経営に参画せねばなりません。またLLCと同様に、ヒトを基本とした組織でありながら、出資額までの責任となる有限責任を採用しており、また利益や権限の配分も自分たちで決めるという内部自治が認められています。

ただLLCとは異なり、法人格を有していませんので、赤字が出てLLP自体に課税されるのではなく、構成員個人に課税されることとなります（パススルー課税）。今ま

で個人が出資者だった場合、株式会社などでは、法人税を支払い、次いで個人が所得税を支払うというダブルの課税があったのですが、このパススルー課税では個人の所得税だけで済ませることができ、節税メリットが期待できます。

既に、現在ある程度のLLPが設立されており、本業とは異なる異業種同士での事業や、同一業種の新たな取り組みなど、機動的な展開が必要な事業では今後重宝されそうです。

LLCそしてLLPとも、創業する際に、既存の定款認証や払込金保管証明は必要なく、登録免許税も最低であり、創業コストが安くなりますので、これからの時代を勝ち抜く連携のためにも憶えておいて損はない制度です。

以上、4回にわたり、会社法改正の基本的な事項をご説明いたしました。長らくご覧いただき誠にありがとうございます。誌面の関係上、かいつまんだ説明になっておりますので、法の解説としては不足した点もあろうかと存じます。どうか、くれぐれも税理士の先生などへお問い合わせいただくことをお願いいたします。なお最後に、会社法改正のわかりやすい説明が載っている書籍やホームページをご紹介しますことで、ご説明を終わりたいと思います。

【書籍】「つまみ食い「新会社法」」  
山田真哉編著 青春出版社  
880円（税抜き）

「新会社法 33問 33答」  
中小企業庁財務課編 無料

【ホームページ】  
ドリームゲート  
<http://www.dreamgate.gr.jp/>  
このトップ画面下の「新会社法」をクリックするとわかりやすい説明があります。

# 組合の動き

## 給水装置工事配管技能者講習開催

さる11月4日(土)に、財団法人給水技術振興財団主催の給水装置工事配管技能者の講習会を、県連合会が実施しました。今回の開催場所は、5町の合併で誕生した紀の川市の花野浄水場で、全国標準講習と分岐穿孔のみの講習が行われました。

この講習会の目的は水道法施行規則に謳われている適切な技能を有する者(技能者)を養成することです。実技を伴う講習会のため、講習会前日より紀の川市の組合青年部と当組合の青年部が力を合わせて会場と実技配管の設営にあたり、立派な配管講習設備が完成しました。

当日午前中に学科講習、午後は当組合

職員による模範実技演習の後、受講者全員が穿孔と配管の実技試験に取り組み、終了後配管の合否判定がなされ、受講者31名全員が給水装置工事配管技能者の資格を取得しました。



## 電子入札操作実習講習会開催

全国管工事業協同組合連合会のIT化推進事業の支援により、去る10月11日、12日の両日、県連合会主催で「電子入札操作実習講習会」が開催され和歌山市をはじめ県下より85名が参加されました。

「電子入札」は建設CALS/ECに基づき、すでに国土交通省では導入、又和歌山県では平成19年度より平成22年度までに段階的に導入される計画です。

県連合会ではこれまでに、電子入札の概要や導入環境の整備に関する講習会を開催しており、今回は、電子入札の一連の操作を各人がパソコンを使用して行う講習会を実施しました。

講習は西日本建設業保証(株)の方を講師に迎え、和歌山市の組合からは41名が受講し、電子入札のシステムの体験用CD-ROMを使用して、入札情報の検索から入札、落札までの一連の操作を実習

しました。講習会場では、全員が懸命に電子入札のパソコン操作に取り組み、はじめて電子入札を体験する方が多い中、実際に体験をしたことと、体験用CD-ROMをもらったことで、実際の入札時にトラブルが起きないように、練習や周辺機器の整備の必要性を認識していただきました。

今後、県連合会では「電子納品」についての操作実習講習会も開催致しますので、是非ご参加下さい。



# 青年部の動き

## 「エコ倶楽部探検隊」2006



集合写真—紀の川大堰前にて

エコ倶楽部探検隊（環境問題研究教室）が11月16日（木）和歌山市管工事業協同組合青年部により、結成されました。今年も和歌山市教育委員会の協力により、和歌山市内小学4年生を対象に、宮北小学校（児童26名）・直川小学校（児童39名）の児童の皆さんに参加していただきました。

当日は大型バスを貸切り、真砂浄水場（和歌山市水道局）・紀の川大堰「水ときらめき紀の川館」（国土交通省）・中央終末処理場（和歌山市下水道部）の3施設を見学しました。

エコ倶楽部探検隊は、全管連青年部協議会による全国的な事業でもあり、当組合青年部としては、市内全部の小学校に参加していただけるよう長期的な事業展開を目指しています。今年初めて見学した真砂浄水場や各施設の職員の方々大変親切に案内をしていただき、両校の児童達も熱心に

説明を聞いたり、ノートにメモを取ったりしていました。

参加してくれた子供達は教室から外に出て色々な水道施設を自分達目で見ることによって紀ノ川の治水事業の大切さ、水道事業の大切さを感じてもらえたと思います。尚、ご協力賜りました方々には、心よりお礼申し上げます。

後日、参加した両校小学生より感想文を頂きましたので、一部ご紹介させていただきます。



真砂浄水場

「社会見学」

見学ありがとうございました。最初の真砂浄水場は、飲み水にするため、いろいろな工夫をし、キレイになった飲み水は、すごくおいしかったです。水ときらめき紀ノ川館では、魚道や、紀ノ川大堰の事が良くわかりました。紀ノ川大堰のゲート一つ上げるのに45分もかかるなんてびっくりしました。魚道にはボラ、コイ、ハゼのような魚、テナガエビがいました。中央終末処理場では、きたない水を虫が食べてくれて薬を使わずキレイにするのがびっくりしました。本当にいい体験になりました。

宮北小学校 4年1組 高橋一太

「エコ倶楽部探検隊」

真砂浄水場では、川から取り入れた水をきれいな水にしてほくたちの家庭にとどけてくれること、紀ノ川大堰では、七つのゲートの内五つがずっとしまっていて外側のゲートだけ洪水のときは、上へあげて、普通のときは、閉めておく事、中央終末処理場では、水は、リサイクルできるとゆうことを教えてくれてありがとうございました。

宮北小学校 4年1組 栗山修杜

「社会見学」

11月16日社会見学に行きました。真砂浄水場、キラメキ館、中央終末処理場です。初めに、真砂浄水場に行きました。どんどん中に入っていくと、大きなため池のような所がありました。もっと進むと浄水場の人がありました。その人は、うすい本を配ってくれました。その本を見ながら話をしてくれました。話が終わると、わたしがさっき思ったため池のような所に連れて行ってくれました。そこは紀ノ川の水を取り入れておいておく所でした。その中にはエビや魚などがいました。なぜ入っているかと言うと、紀ノ川の水を取り入れる時に水から入ってくるそうです。ほかにも色々つれて行ってくれました。ポンプ室には、機械がいっぱいならんでいました。次に行ったのは、キラメキ館です。最初にビデオを見せてくれました。なんと、紀ノ川の水が止まってしまった事があるそうです。それで紀ノ川大堰が出来たそうです。役割は、一、必要な水をためておく。二、海水と真水を分ける。三、洪水の時に安全に水を流す。四、自然に優しい川にするです。

私はすごいと思いました。

直川小学校 4年1組 井関夏希



水ときらめき紀ノ川館



魚道見学



中央終末処理場



沈殿池見学

会社訪問



おじゃマン2号の  
儲かりまっか!  
大 演

「こんにちは皆さん儲かりまっか!」

今回おじゃマン2号は、(有)ロータリーサービスを訪問しました。

金田社長は、23歳の時、三菱重工の仕事で広島から和歌山に来られ、40歳で現会社を設立、現在、甥の杉山君(青年部役員)を筆頭に現場が6人、事務を奥さんと“職場の花”橋佳江さんの2人が担当しています。

おじゃマン2号:

「社長、いきなりですが、会社名がエライ、ハイカラに思うんですけど、仕事内容含め、紹介してもらえまっか?」

金田社長:

「元々は、浄化槽の管理が主で、今も約2,500件ほど管理してる浄化槽管理士が3人おるし、水回り全体のサービスを含めメンテナンス・工事担当が3人やな。入ってくる水から出て行く水までのサービスやな!」

おじゃマン2号:

「入札関係の仕事もしてるそうですが?」

金田社長:

「そやな、土木・管工事・技能士の資格もあるし、浄化槽設備士もあるさかい国、県、市、水道局の入札にも参加してる。そやけど、本管工事よりも住宅のメンテが多いかな!」

おじゃマン2号:

「会社というか、社長のモットーを聞かせてもらえまっか?」



左より奥さん、金田社長、橋佳江さん、杉山君

有限会社 ロータリーサービス

和歌山市松江北5丁目17-28

金田社長:

「うちのモットーは、技術力の勉強、少数精鋭の小さい事をこつこつと、堅実にできる、プロを目指すことやな。浄化槽の管理もしっかりと水を見ることが大切や、薬入れるだけやないで!」



おじゃマン2号の  
“職場の花”紹介  
のコーナー

おじゃマン2号:

今回の事務員さん紹介コーナーは、粉河から毎朝6時半に自宅を出てくるとっても寒がりな、橋佳江さん(入社3年目の読書と潮干狩りが大好きなもう少しだけ独身の年齢?のがんばり屋さん) — 潮干狩り用のMYスコップ(現場用?)を車に積んでいるとのこと。

橋佳江さんに、どんなタイプが好きですか?と質問

「うちの社長さんや、おじゃマンさんのような情があって、超まじめで、超優しい人、でもやっぱりカレーパンマンとキンニクマンがいい、だっておいしいもん、色気より食い気ですわ! エへへ」

お忙しい中、ご協力ありがとうございました。

## 編 集 後 記

謹賀新年、明けましておめでとうございます。組合員の皆様にはおすこやかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

今年の干支は「亥」、十二支では「亥」と表していましたが、後に「猪」が割り当てられるようになりました。イノシシは子作りが上手なので子孫繁栄、勇敢な動物とされています。猪（い）の獣（しし）の意でイノシシ。イノシシは走りだすと容易に曲がれないため、がむしゃらに突き進むことを「猪突猛進」といいます。西日本にみられる「亥の子祝い」では、亥の月亥の日の亥の刻に、イノシシにあやかって無病息災、子孫繁栄を祈るそうです。中国語では「猪」とはブタのことを意味しますので、イノシシは「野豚」と云われています。又、タイ、ベトナム、チベットなどでは「猪」ではなく「豚」となっています。

恒例によりまして、組合顧問の小川武先生、和田秀教先生に新春のご挨拶を戴きました。ご多忙の中、ありがとうございました。又本号では山本理事

長のご挨拶をはじめ、役員の皆様の新年の抱負を語っていただきました。

「商法改正について」一年間（4回）の永きにわたりご執筆戴きました、濱田智司先生には、わかりやすい解説をいただきましたこと厚く御礼申し上げます。

人材確保推進事業支援も3年目となり最終年度の事業を展開しています。本年度の目玉は、所属企業従業員のモデル就業規則等人事マニュアルの作成配付と、採用人事と組合員企業のPRを意識した内容の組合ホームページへのリニューアルです。組合員の皆様のご協力を戴きながら完成したいと考えています。“乞うご期待”

組合青年部主催の「エコ倶楽部探検隊」も毎年和歌山市教育委員会のご推薦により2校ずつご参加戴いておりますが、希望校が多く抽選により決定されています。青年部の事業として定着しています。青年部のみなさん大変ご苦勞様でした。

編集委員一同

## ■ 組合だより 紀の体

● 発行  和歌山市管工事業協同組合

理事長 山本昌彦

● 編集 編集委員会

〒640-8251 和歌山市南中間町12

TEL (073) 436-6801

FAX (073) 436-6804

URL <http://www.w-kankoji.com>

E-mail: wakayama@w-kankoji.com